



## 新年度 理事長挨拶

一般財団法人福島市町村支援機構の運営につきましては、日頃から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、東日本大震災と原子力発電所の事故から9年が経過し、その間、帰還困難区域の一部を含めた避難指示の解除、ロボットテストフィールドを始めとする福島イノベーション・コースト構想の具体化や常磐線の全線再開など、本県は復興の歩みを着実に進めてまいりました。

一方で、思うように進まない住民帰還や風評被害など依然として原発事故の影響は深刻であり、さらには昨年10月に発生した東日本台風とその後の大雨の影響により県内各地で甚大な被害に見舞われるなど、二重、三重の苦難を抱えております。

このような状況のなか、新たな時代「令和」を迎え、当機構を取り巻く環境も大きく変わろうとしております。

今年は、国の復興・創生期間の最終年度に当たる節目の年となることから、当機構でも引き続き被災地域の思いをしっかりと受け止め、復興・再生の支援に努める決意であります。



理事長 遠藤 雄 幸

また、近年激甚化する自然災害の発生に備えるためのインフラの耐震化や高度経済成長期に造られた道路構造物等の老朽化対策は、それらを担う技術系職員の不足と併せて市町村にとっては喫緊の課題となっています。

当機構といたしましては、こうした市町村の抱える様々な課題を共有するとともに、職員の技術力の更なる向上に努め、皆様にとって“かけがえのない存在”であり続けることを目指してまいります。

皆様方には、引き続き御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

## Contents

土	木	②	市道鷲田・山田線の半在家橋が供用開始となりました
土	木		インフラの長寿命化修繕計画（個別施設計画）策定に取り組んでいます
設	備	③	昭和村ラジオ難聴解消事業について紹介します
職	場		管理職員危機管理セミナーを実施しました
研	修	④	令和2年度市町村建設事業等担当職員研修を開催します

## 市道鷺田・山田線の半在家橋が供用開始となりました

喜多方市の濁川に架けられている半在家橋は、昭和53年3月に竣工し地域間交流や生活道路として地域に密着した橋で大変重要な役割を果たしてきました。

しかし、幅員が狭いことから車両及び歩行者の通行に支障をきたしており、このような状況を解消するため、喜多方市は平成29年度から令和元年度にかけて架け替え工事を実施してきました。

当機構では、当初及び変更積算業務・現場管理業務を受託しました。橋梁整備工事の工期は、令和2年3月31日のところ、本箇所が豪雪地区で厳しい施工条件の中、工期の短縮を図り、令和2年1月12日に開通式を行うことができました。

この橋の開通により、今後は幹線道路として位置付けられ、地域間交流に大きな役割を果たすこととなります。



当機構は、今後も積算業務、発注者支援業務(現場管理)を通して市町村事業を支援してまいります。

(土木2課 TEL024-522-3095)

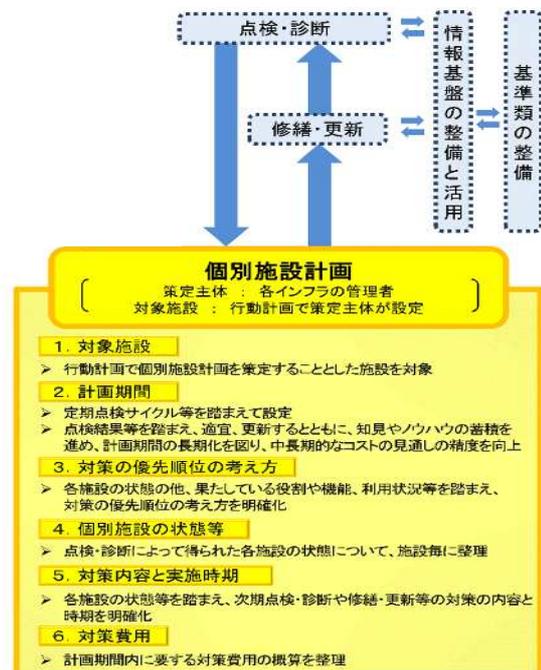
## インフラの長寿命化修繕計画（個別施設計画）策定に取り組んでいます

インフラの長寿命化修繕計画（個別施設計画）については、道路施設では橋梁、トンネル、カルバート、道路付属物や舗装等に対して、各々の定期点検・診断の結果に基づき、地方公共団体によっては2020年度（令和2年度）までに策定が求められています。

これまで当機構では、各市町村より橋梁の長寿命化修繕計画（個別施設計画）策定を受託し、地域の現状や財政状況を踏まえた計画を策定してきました。修繕計画では対象施設や計画期間等、図に示す6項目について記載する必要がありますが、各施設の特長や維持管理・更新等にかかる取組状況等を反映した計画を心掛けています。

本年度は「橋梁」に加え、新たに「舗装」や「道路付属物」「スノーシェッド」の長寿命化修繕計画も受託予定であり、これから市町村に寄り添った計画策定に努めていきます。

(構造保全課 TEL024-597-7063)



※ 国土交通省資料抜粋

## 昭和村ラジオ難視聴解消事業について紹介します

ラジオ難聴を解消するため、昭和村では「ラジオ難視聴解消事業」を行いました。



子局柱

総務省から「ラジオ難聴エリア解消事業」として承認を得、平成30年度に設計、令和元年度に工事を実施し、NHKラジオ第一放送、ラジオ福島、ふくしまFMのラジオが村内で楽しめるようになりました。

難聴解消の方式は、ラジオ放送3波の受信施設を会津若松市内に設け、そこでデジタル信号に変換し光ケーブルで昭和村役場に引き込んだ後、村内の防災行政無線の子局柱に設置した送信所に送り、送信所からFM波に変換して送信するギャップフィルター方式（弱い電波で送信する方式）を採用しています。

この事業の完了により、昭和村内の主要道路においてカーラジオからのクリアな音声が途切れることなく、聴くことができるようになりました。昭和村を訪れた際にはぜひカーラジオでお試してください。

当支援機構では、「ラジオ難聴解消事業」の発注者支援業務を行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

(設備課：TEL024-522-5121)

### 職場内研修

## 管理職員危機管理セミナーを実施しました

令和2年1月27日ふくしま中町会館において、当機構の役員・管理職を対象に「管理職員危機管理セミナー」を開催しました。当機構副理事長である高松本宮市長を講師に迎え、理事長の遠藤川内村長、理事の岡部古殿町長にもご出席いただきました。

遠藤理事長の挨拶の後、高松副理事長より「台風19の災害からの教訓」と題して、台風19号災害における「本宮市の取り組み」や「市長自らの取り組み」について、台風の被災状況の写真を提示しながら、講話をしていただきました。

特に印象に残ったのは、被災直後の最重点課題を「街をきれいにする」と置いたという話です。

関係機関等の協力により、いち早く街をきれいにしたことで、市民の気持ちが前向きになり、「やれる」という意識が芽生えたとのことでした。

また、本宮市は、市の中心部が浸水被害にあったため、個人商店の被災が多く、国や県の対応を待っている廃業する方が続出するのではないかと危機感から、グループ補助金等について国・県に要望するとともに、正式決定前から被災者に周知を図ったとのことをお話をいただきました。

甚大な被害に際し、「最後は自分が責任を取る」という市長の覚悟と本宮市への思いが溢れた講話となり、危機に際し、いかにトップの「判断」が重要であることを認識させられました。

高松副理事長に、この紙面を借りて改めて感謝を申し上げます。



## 令和2年度市町村建設事業等担当職員研修を開催します

当機構は、市町村等で建設事業等に携わる職員の方々の知識や技術力向上等を目的に各研修を実施しています。

令和2年度は新たに、外部講師による「営繕積算システムRIBC2による積算演習〈建築〉」研修を開催し、システムの概要説明後、操作演習を実際に行っていただきます。他にも以下の12コースを開催しますので、多数の参加をお待ちしています。なお、各コースの詳細は、開催日の1カ月前にお知らせします。

### 令和2年度 市町村建設事業等担当職員研修計画

研修区分	研修名	開催月	日 数	備 考
基 礎	土木技術の基礎講座	4月・5月	3日	2回開催
初 級	設計積算システムによる積算演習〈土木〉	5月・6月	3日	2回開催
	営繕積算システムRIBC2による積算演習〈建築〉	6月	2日	2回開催
	Jw-CAD演習	5月・6月	2日	2回開催
	用地研修	9月	2日	
中 級	工事検査	6月	1日	
	道路事業の計画設計（Ⅱ）	7月	3日	
	橋梁点検と補修計画	7月	2日	
特 別	ドローン	9月	1日	
	最近の防災行政の動向について	10月	1日	
	会計検査制度と指摘事例の解説	9月	1日	
	公営企業会計制度	11月	1日	
	公共施設の維持管理	12月	1日	

#### 〔特別研修の内容〕

- ・ドローン・・・・・・・・・・・・・・・・ドローンの活用事例、関係法令、ドローンの操作方法等
- ・最近の防災行政の動向について・・・最近の防災行政の概要を紹介
- ・公営企業会計制度・・・・・・・・・・官公庁会計・企業会計・公営企業会計の相違点の概説、会計原則等の習得
- ・会計検査制度と指摘事例の解説・・・会計検査の制度及び留意点について事例を基に解説
- ・公共施設の維持管理・・・・・・・・・・公営住宅・教育施設の長寿命化計画の概要等

※ 上記研修については、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、予定を変更する場合があります。

（総務課：TEL024-522-5123）